

(一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部「令和8年度定時総会」開く
人材確保及び多様化に向けて「みらい共創委員会」を新設



令和8年度事業計画などを決めた定時総会

(一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部(穂山泰治支部長)の「令和8年度定時総会」は21日、福岡市の八仙閣本店で開催した。総会には会員75社(委任状78社)が出席し、令和7年度の事業報告(案)・決算(案)及び監査報告・支部役員の改選を審議・承認したほか、令和8年度事業計画として①建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備、②技術力と品質の確保・向上の促進など、5項目の運営方針と各部会の事業計画等を承認した。役員改選では副支部長や支部理事等の9名が選出。支部組織に「みらい共創委員会」が新設され、総会後は建コン本部の多田智副会長の講演会や懇親会が開かれた。

総会の挨拶で穂山支部長(西日本技術開発㈱)は、「令和7年度の支部活動について、会員各社のご協力と役員の皆様方のご尽力により計画通り終えた事を心より感謝を申し上げます。先日は、令和8年度当初予算が成立し、公共事業予算も大幅に増額されました。その中で、業界を取り巻く環境は慢性的な人材不足問題がありますが、地域に貢献し信頼される建設コンサルタントとして安全・安心な暮らしを守り、社会資本整備によって経済を活性化させる、国の成長・発展につながるよう、力を入れて取り組む必要があります。



挨拶の穂山支部長

令和8年度も会員各社のお力を頂戴し、結集して引き続き取り組んでまいりたいと思いますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いをいたします」と挨拶した。

このあとの議事進行は、穂山支部長を議長に選出し、①令和7年度事業報告（案）、②令和7年度決算（案）及び監査報告、③支部役員の改選（案）を審議承認した後、令和8年度の事業計画・予算の報告が行われた。役員改選では、副支部長に渡邊茂樹氏（㈱オリエンタルコンサルタンツ九州支社）、支部理事に田村昭彦氏（サンコーコンサルタント㈱九州支社）、鶴田芳昭氏（㈱東京建設コンサルタント九州支社）、田中賢一氏（日本工営都市空間㈱九州支社）、長田拓也氏（パシフィックコンサルタンツ㈱九州支社）、支部理事（佐賀）に山根誠一氏（㈱コスモエンジニアリング）、支部理事（大分）に梶原宏一郎氏（東亜コンサルタント㈱）、支部監事に奥菌剛氏（東亜建設技術㈱）、田中淳氏（基礎地盤コンサルタンツ㈱九州支社）が選任された。



乾杯の栄徳副支部長

8年度事業計画の運営方針では①建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備、②技術力と品質の確保・向上の促進、③広報活動の強化と社会的貢献活動の推進、④職業倫理の保持と法令遵守の徹底、⑤会員であることによる便益向上の一層の促進を掲げ、事務局、総務・企画部、対外活動部、技術部、夢アイデア部、特別部、地域部の部会と各委員会の事業計画に基づいて、積極的な事業活動に取り組んでいくことなどを決めた。その中で、総務企画部は女性技術者委員会と若手技術者委員会を統合して、「みらい共創委員会」を新設し、建コン業界で働く人材確保及び多様化やジェンダーギャップ解消を推進する。

総会後は、（一社）建設コンサルタンツ協会本部の多田智副会長の講演会とコンサルティングエンジニア連盟の説明会があった。国や県の行政関係者ら来賓を招いて開かれた懇親会では、支部長挨拶などが行われた後、栄徳副支部長（㈱福山コンサルタント）が乾杯し、親睦を深めながら意見交換が行われた。